

令和8年度入学試験問題（前期日程）

小論文

初等教育教員養成課程 小学校教育専攻プログラム

解答例

（問1）

一つは、「書いてある内容が整理されている」レベルで、これを「テキストベース」の理解と呼ぶ。もう一つは「状況モデル」のレベルで、書いてあることがわかる「テキストベース」の理解に加えて、自分の知識や推論を含めた表象を作ることができる。（115文字）

（問2）

外国で生まれ、日本にやってきた子どもたちが想定できる。かれらは日本語の読み書きができるようになると、教科書に書いてある内容を整理するテキストベースの理解はできるようになる。しかし、日本の文化（たとえば本文で言及されていたような除夜の鐘）は知らないことが多いため、状況モデルを構築することが難しい場合が多いと思われる。とくに、国語や社会の授業では、暗黙のうちに日本の文化を知っている前提で授業が進むことがあるため、かれらは学習に困難を抱える可能性が高い。そこで授業に入る前に事前に日本の文化や制度について説明したり、絵や動画などの視覚教材を補助的に利用したりといった取り組みを行いたい。こうした取り組みは、外国からきた子どもたちだけでなく、日本で育ったとしても生活経験に乏しい子どもたちにとっても有益であり、誰にとってもわかりやすい授業に繋がると考える。（376字）